



ていり 市議会だより

■発行:天理市議会
■編集:議会広報編集委員会
<http://www.tenri-gikai.jp/>

〒632-8555
天理市川原城町605
TEL.0743-63-1001
FAX.0743-63-4502

NO.41

2007年 9月1日



名阪国道「福住バス停」を北へ約300mのところ^{まつ}に我が国でも珍しい氷の神^{ひやう}を祀った氷室神社があります。

社伝によると、「闘鶏」または「都祁国」と呼ばれたところに、冬季の氷を氷室にかこい、夏季に朝廷へこれを献上されたと言われています。

各地の山間部で時々見かける氷室という場所が氷の製造工場で、多くは冬の間に自然にできた氷を夏まで保管していた所で、ここ福住にもありました。

年2回夏・秋祭が開催されていますので涼しいひとときを過ごされてはいかがでしょうか。

CONTENTS

5月臨時会	2
委員の仕事と委員紹介	3
6月定例会	4
委員会審査の概要	5
一般質問	5~7
とびくすほか	8



(正副議長選挙投票風景)

5月17日に開会した臨時会では、南市長の招集あいさつの後、議長、副議長選挙を行い、議長には北田利光氏が再選し、副議長には今西康世氏が当選しました。

続いて、山辺広域行政事務組合議会議員の選挙を行い、また監査委員には、中田景士氏を選任同意しました。その後、常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任を行うとともに、各正副委員長の互選を行いました。

次に、選挙管理委員会の委員並びに同補充員の選挙を行い、続いて承認案として平成18年度一般会計補正予算及び市税賦課徴収条例の一部改正ほか2件の専決処分の報告があり、また、平成19年度一般会計補正予算について市長より提案説明があり、いずれも原案どおり承認・可決しました。

最後に、農業委員会の委員の推薦を行い、同日閉会しました。

5月臨時会

新体制人事でスタート

議長に北田 利光氏(再選)

副議長に今西 康世氏

監査委員に中田 景士氏

統一地方選挙後初めての議会となる臨時会が5月17日に招集され、議長・副議長をはじめ常任委員会の委員など選任したほか、提出された承認案などすべて原案どおり承認しました。

市議会おもな動き

5月

- 17日 第1回臨時会
- 22日 議会運営委員会
- 31日 議会運営委員会

6月

- 7日 第2回定例会開会
- 11日 定例会再開
- 12日 文教民生委員会
- 13日 市民経済委員会
- 14日 建設水道委員会
- 15日 総務財政委員会
- 19日 全国議長会総会
- 20日 定例会再開、閉会
- " 議会広報編集委員会

7月

- 3日 全国自治体病院経営都市議会定期総会
- 26日 議会広報編集委員会

8月

- 2日 議会広報編集委員会
- 6日 議会運営委員会
- 8日 第2回奈良県議長会
- 18日 議員定数等を市民と共に語る集い
- 22日 安全・安心のまちづくり推進特別委員会
- 30日 議会運営委員会

ごあいさつ



議長 北田利光

初秋の候、市民の皆様方におかれましては健やかにお過ごしのことと存じます。平素は市議会にご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、去る5月17日の市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、引き続き議長の要職をお預かりすることになり、身に余る光栄でございます。

もとより浅学非才ではございますが、本市発展と議会の円滑な運営のため、誠心誠意努力をいたす覚悟であります。

本市は市制施行以来、都市計画街路、上下水道など市民生活に欠くことのできない都市施設を整備し、さらに福祉、教育の充実を図り着実に発展を遂げてまいりました。

先般には、前栽第2・山の辺両学童保育所が新たに設置され、子育て環境の充実と放課後児童の健全育成に大きく寄与するものと確信いたしております。また、大和青垣国定公園をはじめとする美しい自然環境にも恵まれ、日本最古の道といわれる「山の辺の道」をはじめ、数多くの国宝、重要文化財が残されております。

市議会といたしましては新体制のもと、都市基盤整備の充実と、美しい自然や貴重な文化財の保護との調和を保ちながら、住みよいまちづくりに努めてまいります所存であります。

どうか今後とも、市民の皆様の一層のご協力を賜りますようお願いを申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

議会運営委員会

(議会広報編集委員会)

議会の運営に関する事項、議会の規則、委員会に関する条例等の事項、議長の諮問に関する事項、陳情、議会広報発刊に関する事項等を審査

◎佐々岡典雅 ○中田 景士
飯田 和男 寺井 正則
加藤嘉久次 大橋 基之

総務財政委員会

文書、広報、平和、財政、税務、選挙、姉妹都市、監査、管財、情報政策、地域安全、防災、市民会館などに関することの審査

◎寺井 正則 ○廣井 洋司
北田 利光 平井 守

文教民生委員会

教育、スポーツ、文化財、図書館、生涯学習、文化センター、社会福祉、老人対策、介護保険、保健などに関することの審査

◎加藤嘉久次 ○飯田 和男
岡部 哲雄 松井真理子
榎堀 秀樹

常任委員会の 仕事と委員

(議席順)

◎委員長 ○副委員長

市民経済委員会

住民登録、男女共同参画、ごみ処理、環境保全、産業廃棄物対策(菅原町)、国民年金、国民保険、商工観光、農業、人権啓発、病院事業などに関することの審査

◎大橋 基之 ○西辻 正美
吉井 猛 今西 康世
中田 景士

建設水道委員会

道路、河川、公園、都市開発、市営住宅、下水道、水道事業などに関することの審査

◎三橋 保長 ○堀田 佳照
佐々岡典雅 東田 匡弘
荻原 文明



6月定例会

一般会計補正予算

1億782万9千円可決

6月7日に開会した平成19年第2回定例会では、一般会計補正予算など5議案のほか諮問案、同意案、決議案を可決し、20日に閉会しました。

7日の本会議では、会期を21日までの15日間と決めた後、議事日程に入り、報告第3号から第7号までの5報告が上程され、いずれも原案どおり承認した後、市長から平成19年度一般会計補正予算ほか4議案について提案説明があり、1日

目を散会しました。

再開された11日の本会議では、一般質問に続き、上程された5議案を各常任委員会に付託し、2日目を散会しました。

12日から15日の間に各常任委員会では付託議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

再開された20日の本会議では、議事に先立ち、全国市議会議長会より20年以上の勤続議員として北田利光議長、吉井猛議員に、また10年以上の勤続議員として今西康世副議長に対し、表彰状及び記念品の伝達があり、続いて前年度の同議長会評議員として、北田利光議長に感謝状の伝達があり

ました。

続いて、議事日程に入り4議員からの一般質問に続き、常任委員会に付託された5議案について、委員長より報告があり、いずれも原案どおり可決しました

続いて、人権擁護委員の推薦について諮問案が提出され、福井 進氏（川原城町）、川本晴康氏（柳本町）が引き続き推薦され、新たに高橋道一氏（三島町）、東村藤浩氏（福住町）を承認しました。

続いて、固定資産評価審査委員会の委員の選任同意案が上程され、足達幸弘氏（三島町）を選任しました。

次に、2件の決議案（8ページ意見書要旨掲載）について原案どおり可決し、さらに「後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙」を行い、最後に、市民が安全で安心して暮らせるよう、その実現に向け、「天理市安全・安心のまちづくり推進特別委員会」を設置し、本定例会を閉会しました。

安全・安心のまちづくり推進特別委員会

◎委員長
○副委員長

◎榎 堀 秀 樹
○西 辻 正 美
飯 田 和 男
吉 井 哲 猛
岡 康 雄
今 景 世
中 利 士
北 景 光
大 橋 之

天理市議会会派構成表（届出順）

◎幹事長、○副幹事長

会 派 名 称	人 員	所 属 議 員
新 風 会	4	◎加藤嘉久次 西辻 正美 ○東田 匡弘 平井 守
クリエイティブ天理	8	◎寺井 正則 飯田 和男 堀田 佳照 佐々岡典雅 ○大橋 基之 今西 康世 北田 利光 榎堀 秀樹
ニ ュ ー ホ ー プ	3	◎中田 景士 廣井 洋司 ○三橋 保長
無会派の議員は右記のとおりです。		吉井 猛 松井真理子 岡部 哲雄 荻原 文明

常任委員会審査の概要

建設水道委員会

可決された議案

- 本市公共下水道施設を田原本町住民の使用に供させることについて
- 本市公共下水道施設を奈良市住民の使用に供させることについて

●土地の取得について

「内容」土地開発公社保有の用地を本市に買戻すもの。

総務財政委員会

可決された議案

- 平成19年度一般会計補正予算（第3号）

「内容」歳入歳出ともに1億782万9千円の増額。

歳出の内容は、勾田樺本線、川原城新道東線歩道のバリアフリー化の測量設計業務委託料、土地開発公社借入資金償還の利子補給金及びISO14001認証取得

事業費等で、歳入は国庫支出金、市債等で充当。

- グラウンド・ゴルフ場条例の制定について

「内容」スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、市民の健康保持及び増進のため設置するもの。

意見・要望

- ◎福住工業団地の土地利用に関して、再度アンケート調査を実施されるよう要望。
- ◎ISO14001認証取得事業は平成20年10月取得を目指し、創意工夫のもと実施されるよう要望。

◎グラウンド・ゴルフ場に関して、多数参加が見込まれ混雑が予想されるので駐車場の確保、および、利用者の声を聞きながらコースの形状変更も検討され、管理棟に自動体外式除細動器（AED）を設置するなど予期せぬ事故等の対応にも万全を期されるよう要望。

一般質問（要旨）

今定例会では、5名の議員が一般質問を行いました。ここにその要旨を掲載します。詳細は、ホームページをご覧ください。

なお、前号から質問者の氏名と答弁者名を掲載することになりました。

荻原 文明 議員

農業振興対策について

問 農業政策は大きく転換し、一部の大規模農家や法人・集落組織だけを農政の対象とし、圧倒的多数の中

小零細農家や産地を政策対象から排除する品目横断的経営安定対策が導入された。しかし、本市は耕地面積1ha以下の農家が8割を占めて、多数の農家が経営安定対策の対象外である。

安全な農産物の安定供給は中小零細農家が担っており、消費者にとっても大きな問題である。そこで市独自の価格安定対策や集落営農の充実を図ることが必要であり、政府に対して、全ての農家を対象にした品目横断的経営安定対策の中止と改善を求める考えは。

答 品目横断的経営安定対策は担い手要件のハードルが高く、導入には厳しい。農業の振興を図るには、集落営農組織が有効であり、その育成に努めたい。本市の農業の実態に合った形で認定規模の緩和や財政措置等についても国や関係機関に要望していきたい。

（環境経済部長）

住民税増税の中止について

問 19年6月から市県民税が変わり、住民税が大幅に増税された。税源移譲により所得税が減税されるとはいえ、定率減税廃止等により実質増税になる。住民税

の増税は中止すべきである。また住民税の減免については、地方税法では「天災、貧困により公私の扶助を受ける者」は市民税が減税できるが、減免制度の拡充と減免要綱の策定についての考えは。

答 税制改革は、全国的なもので了解を得たい。災害時以外の恒常的な減免措置は税の公平性、市財源の観点から特に慎重な対応が必要で、今後の検討課題としたい。

（市長）

寺井 正則 議員

ジェネリック医薬品の普及促進について

問 普及促進にもっと積極的に取り組んではどうか。

答 医療費を抑制する効果が期待できるものと考えており、普及は大切なことである。「町から町へ」の折込で『すこやか国保』でも医薬品の紹介をし、啓発を重ねているが、今後も一層力を入れていきたい。（市長）

問 市立病院で取り組んでいる現状や課題は。

答 2002年より当該医薬品を採用しており、現在内服薬、外用薬、注射薬を合わせて86品目を使用している。患者個々の病状等によって慎重な対応が必要な場合もあり、十分配慮し、安全で安心な投薬に努めている。(病院事務局長)

※医療機関で処方される、もうひとつの薬。
同じ成分・同じ効き目でありながら、薬価は平均すると新薬の約半額です。

菅原産業廃棄物処分場 問題について

問 最近動きがあると言われる処分場建設予定地の現状と今後の対策は。

答 現在、採石の業務を終えようとしており、処分場の建設工事の申請手続に入る見込みである。今後、事業者の動向等を注視しながら、「天理の環境と命を守る会」を軸に、市議会及び行政が連携を密にして、市民の大切な命の水を守るために取り組んでいく。(市長)

はしか予防について

問 全国的に、はしかが集団感染し、大学など休校が相次いだが、本市における予防接種の状況と、接種率向上のための対策は。

答 集団発生は現在聞いていない。はしか予防の接種回数は、風疹とはしかの混合で2回となっている。18年度の接種状況は1回目の接種率が94・2%で、2回目は81・9%である。

なお、予防接種の向上のために、出生届時と十カ月健診、1歳児健診の3回で指導を行っている。また、個人通知、広報及び保育所、幼稚園にも通知し、予防接

種の啓発に努めている。

(健康福祉部長)

中田 景士 議員

子どもを持つ親の 教育について

問 給食費や保育料の未払い、学校の行事等から見える親の姿やマナー、虐待、不登校、フリーター、ニート等、現在子どもを持つ親を見ると、子どもの教育も大切であるが、この様な社会を築き容認してきた事を、市民が真摯に反省と責任、そして期待を込めて今こそ親の教育を考えなければ、明るい展望が見えてこないのでは。

答 「子は親の背中を見て育つ」と言われるように、子どもへの教育と同時に、親が模範を示していく意味からも必要だと認識し、「天理っ子」育成に向けて機会あるごとに呼びかけていきたい。

また、学級懇談やPTA

の研修会等を通じて、直接働きかけていく地道な取り組みをしていきたい。

(市長、教育長)

団塊世代の生きがい について

問 若い時から仕事に迫われ、ボランティアの方法や生きがいを見つけられない団塊の世代が今後増えてくる。そのきっかけ作りとして、一、公共の場にサロンの設置。二、遊休農地を活用し市民農園の開設及び家庭菜園等の斡旋や指導。三、ゴルフ・ボウリング・ゴルフ・映画等の情報提供と案内。四、青年大学の創設等多様高度化したニーズや行政、社会、文化芸術、スポーツのリーダーとしてのお手伝い等を考えてはどうか。

答 まちづくり、地域に貢献して頂ける人材の発掘や、公民館での活動や参加しやすい場の提供についても検討していきたい。

また、19年4月よりボランティアセンター「いちよ

う」を発足させ、活動の機会や場をつくるきっかけとして施策に取り組み、更に4年前から月2回程度で人生をサポートするための「市民大学」を開校している。老若男女を問わず誰もが参画できるよう充実に図りたい。(市長)

平井 守 議員

国民年金問題に関する 取り組みについて

問 基礎年金番号としてコンピュータに入力されているものの以外に、該当者不明の記録が5千95万件あり、だぶる、漏れる、消える年金という問題で、安倍首相は「1年以内にそのすべてをチェックすることを約束します」と繰り返し述べている。民主党は保険料の納付記録と将来の支給金額などを記録する「年金通帳」を提唱している。

現時点では社会保険庁が早急に解決すべき問題だが、

『町から町へ』で、「今一度、年金手帳をご確認ください」、「疑問点があれば、社会保険庁へ問い合わせてください」などと呼びかけてはどうか。

【答】市民に啓発や再確認などの取り組みをしていくべきだと考えている。(市長)

読書活動の推進と「読書貯金通帳」の作成について

【問】子どもたちがいろんな本を読むことは非常に大切である。兵庫県赤穂市では「読書貯金通帳」を作成し、

借りた本の題名と定価を書き入れ、累積金額がわかるようにした。通帳の名前もユニークで、大石内蔵助の子どもの名前「主税」にちなんで「知加良」と名づけたので、子どもたちにも好評のようである。本市も独自の通帳を作成し、名前を募集してはどうか。

【答】赤穂市の事例を参考にしながら、読書意欲を高め、継続できる方法を検討したい。(教育長)

生活保護者の実態と稼働能力判定会議について

【問】厚生労働省は生活保護費の抑制を図る対策の一つとして、19年度から「稼働能力判定会議」の設置を決めたが、本市の今後の取り組みは。

【答】県下各市にはまだ設置されておらず、今後の状況を踏まえ、検討していきたい。(健康福祉部長)

加藤嘉久次 議員

選挙開票事務について

【問】選挙の開票事務改善は、効率化を追求する取り組みの一つである。4月の統一地方選挙における県議会議員選挙の開票作業時間は、本市が全国678力所中、555位の2時間35分であった。自治体の大小はあるが、この順位についてどう考えるか。

【答】投票総数や候補者数、選挙従事者の人数などの条件を考慮せず、時間だけの

比較であると認識している。ただし、一歩でもよい方向に事務を整えていきたい。

【問】職員の創意工夫により新しいアイデアが生まれ、正確性、公平・公正性がより確保される。小さな積み重ねが大きな事務改善運動につながると思うが。

【答】開票事務の短縮の取り組みを行財政改革へつなげていくべきで、職員の意識改革も進めていきたい。また、職員数の削減については、実質的な行政サービス

が低下しないよう十分配慮し、市政を運営していきたい。

【問】公務員に欠けている概念は、自ら進んで改革し、物事を少しでも良くしていくことであり、目標へのこだわり、効率性の追求といった意識を持つことが必要である。それが本当の行政改革であり、縦割りの職員意識を打破し、チームワークの重要性を再認識させることが可能だと考える。改善運動の積み重ねを積極的に取り組み、全国のト

行政視察 (平成18年度分)

全国各市には、それぞれの地域の特徴などを活かしたまちづくりが進められており、議会運営や行政施策などの見識を深めるため、全国各地の議会から行政視察のため本市を訪問されています。本市の議会も下記のとおり行政視察を行いました。

委員会名	期 間	行政視察地(調査、研究項目)
安全・安心のまちづくり推進特別	7月12日～14日	新潟県阿賀野市(防犯対策について) 新潟県柏崎市(コミュニティバス導入について) 新潟県小千谷市(防災対策について)
議会運営(広報編集)	8月9日～11日	北海道旭川市(議会バリアフリー化・ホームページについて) 北海道富良野市(議会運営について) 北海道札幌市(インターネットライブ中継について)
建設水道	10月2日～4日	神奈川県厚木市(ぼうさいの丘公園施設) 神奈川県平塚市(馬入相模川堤内地整備) 神奈川県鎌倉市(電子入札について)
市民経済	10月3日～5日	青森県三沢市(廃棄物不法投棄監視員について) 青森県むつ市(墓地公園区画について) 青森県つがる市(つがるブランドについて)
総務財政	10月10日～12日	宮城県日南市(行政一新改革について) 宮城県宮崎市(フローランテ宮崎) 宮城県小林市(行政評価について)
文教民生	10月11日～13日	広島県尾道市(尾道教育さくらプラン等について) 広島県呉市(下蒲刈複合福祉施設について) 広島県廿日市市(循環バス運行について)

他議会から視察に

・三重県尾鷲市(7月27日) 予算審査、議会運営全般について

【答】目標を掲げて、職員がアイデアを出し合い、共通の目的、つまり市の仕事に力を合わせて向かっていく姿が一番大切だと思う。(市長)

天理市議会議員定数等 検討委員会 発足！

定数問題、議員報酬、政務調査費のあり方など審議するため検討委員会が6月11日発足しました。

7月5日に同委員会が初開催し、協議の進め方など審議しました。市民と議会を身近で開かれたものにするため、市民や有識者などから広く意見を聞き入れます。委員会を含め、市民と一体となって、議会運営のあり方についても考えていくため、次回から「原則公開」とし、委員会を閉会しました。

なお、当委員会の委員は次のとおりです。

委員長	吉井 猛	副委員長	荻原 文明
委員	今西 康世	委員	寺井 正則
委員	廣井 洋司	委員	堀田 佳照
委員	北田 利光	委員	平井 守
委員	榎堀 秀樹		(定数9名、敬称略)

☆次回の開催日は未定ですが、市議会ホームページ等で案内させていただきます。また、審議内容につきましては、その要旨を『市議会だより』にも掲載いたします。

森林の整備、林業・林産業の振興に関する意見書（要旨）

今なお厳しい状況が続いている林業・木材産業の再生につなげていくには、森林吸収源対策としての森林整備を図るための追加的事業費の継続や新たな森林・林業基本計画に導入された工程管理の検証など、今後これらの兆しを助長・発展させるための強力な施策の展開が必要である。

具体的には下記の事項についてその実現を強く願う。

記

1. 多様で健全な森林の整備・保全等を促進する新たな森林・林業基本計画の推進とこれを実現するための平成20年度予算の確保
2. 地球温暖化防止森林吸収源対策を推進するための追加的事業費の安定的な財源の確保と、事業執行に伴う地方財政追加処置及び森林所有者負担の軽減
3. 森林・林業の担い手の育成・確保及び国産材の安定供給体制の整備と利用拡大を軸とする林業・木材産業の再生に向けた諸施策の展開
4. 国民の安全・安心な暮らしを守る国土保全対策の推進
5. 特に、国有林野にあっては、安全・安心な国土基盤の形成と地域振興に資する管理体制の確保
6. 地球的規模での環境保全や持続可能な森林経営を目指した違法伐採対策の推進
7. 森林整備地域活動支援交付金制度の継続・充実

編集後記

暑さも、一段落したようです。私たち編集委員も新メンバーで出陣することになりました。さて、市議会も6月に「議員定数等検討委員会」を立ち上げ、市民の皆様と議会がより身近で開かれたものにするため、定数等の問題だけでなく、議会運営のあり方等を研修し、新しい時代に対応した議会活動を展開していきたいと考えています。私たちも皆様の声を反映してよりよいまちづくりに努力していきます。

とびくす TOPICS



『議員定数等を市民と共に語る集い』で多いに意見交換!!

去る8月18日に市民をはじめ各種団体の方々70名の参加のもと、『議員定数等を市民と共に語る集い』を開催しました。

はじめに、講師としてお招きした井下田氏（姫路獨協大学名誉教授）から「議員定数を検討する」をテーマに地方議会、議員定数の考え方、議会のあり方など様々な視点からの問題提起がありました。その後、参加者と活発な意見交換を行い、最後にアンケートを実施しました。初めての「集い」でしたが、市民の皆様の声をお聞きでき、多くの貴重なご意見をいただき、今後わが町「天理市」がどうあるべきか考えるよい機会となりました。

異常気象による災害対策や地球温暖化対策の強化・拡充を求める意見書（要旨）

環境立国をめざす日本は、海岸保全や防災のための施策はもちろん、確実に地球環境をむしばんでいる地球温暖化を防止するため下記の事項について政府に強く要望する。

記

1. 集中豪雨等による災害に強い堤防や道路等の基盤整備、まちづくりの推進と、海岸侵食対策を積極的に進めること。
2. 集中豪雨や竜巻等の局地予報体制の充実のために、集中豪雨や竜巻発生短時間予測が可能なドップラーレーダーを計画中のところ以外にも増やすと同時に、緊急避難が無事できるような体制を確立すること。
3. 学校施設や事業所等の屋上緑化、壁面緑化（緑のカーテン）のほか、環境にやさしいエコスクールの推進、自然エネルギーの活用を組み合わせ教室や図書館等への扇風機やクーラー等の導入を図ることなど、積極的に進めること。
4. 森林資源などのバイオマスや太陽光、風力、小水力などの自然エネルギーの積極的利用を進めると共に、バイオマスタウンの拡大や関係の法改正等に取り組むこと。
5. 今国会で成立した「環境配慮契約法」を実効性のあるものとするため、まず国・政府が率先して温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進を積極的に行うこと。